

REEL No. 1-0301

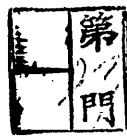
0034

シヤカ...

外秘乙第二六六號 大元年八月二十六日

露西亞國民統一會ニ就テ

(露國人A某報告 其五)



本年春日本在住露國人間ニ於テ升ガ社會上及政治
上ノ政策意見ヲ一致結合スルノ目的ヲ以テ之ガ機關設立
ノ議アリ次イテ「ロマノフスキー」將軍ヲ統裁トスル「在日本露
西亞國民統一會」ナルモノヲ設テ見ルニ至レリ
一統一會設立沿革

在露露國政治家、社會政策家ヲ結合セントスルノ主張ハ先ツ
ゼ「ロロニー」新聞編輯人記者ガ「(グットマン別名)ヲ圍
繞スル人々ニ依リ提唱セラレタリ而シテ「ロマノフスキー」將軍ハ

ガ「常ニ奉戴スル所ノ頭首ナリトス」ガ「露國各
代表的人物ヲオリエンタル」ホテルニ招待シ相互ノ意見ヲ交
換シ親睦ヲ重ネタル「タ」會合ニ於テ結局前記ノ如キ機
關設立ノ議ヲ協定セリ

當夜ノ出席者名右ノ如シ

ロマノフスキー 將軍、 シエワールロ (元上院議員)

ホクロウスキー、 コーゼル、 元上院議員タリシモ波蘭臣民トナリテ
辭去セリ

新聞記者

ゼ「ロロニー」紙現編輯長

商人

全全

フアビツツキー
コロコロニコフ
ツロカーゾフ
クローブリン

コルゾーヒン
マカーロフ
ベルグ
博士
陸軍大佐
外交官目下在佛國

其他

斯クシテ前記諸人ハ其委員トナリ其他ヲ會負トセリ
又別ニ哈市ニ支部ヲ置キ「ウオストロチ」ヲシテ之ガ長タラシム
一統一會委員ト「セシヨ」ヲ頭領トノ關係
統一會ハ全然不偏不黨ニシテ日本ニ在住スル露國ノ各政
黨及政派ノ意見ヲ吐露シ希望ヲ表明スルト共ニ一面日
本ノ對極東政策ヲシテ過誤ナカラシメニガ爲メ日本ノ政界ニ
極東ニ對スル正當ナル解釋ヲ提供スルノ具タラシムルニアリ
故ニ極東ニ於ケル及過激派頭首ノ何レモ特ニ支援セントス

ルモノ非ズシテ及テ別個ノ堅固ナル新政府ヲ出現セシメント
スル獨自ノ運動ニアリタリ然カモセシヨ」ヲ頭領トノ關係
ヲ最モ親善ニ保有セントスルニアリタルハ勿論ナルガ「スイロホ
ヤルスキ」將軍ト「ロマノフスキ」將軍トノ了解ハ統一會
對セシヨ」ヲ頭領トノ親善的連鎖トナリタルニ與ツテカアリキ
一其ノ後ノ色彩

統一委員會ハ漸次右黨分子勢カラ張ルニ至リ其ノ計
劃モ変色シ來レリ而シテ極東新政府（「ゴングツテ」又ハ「ホ
ルワツト」將軍其他「ロマノフスキ」將軍ヲ頭首トスル）
建設策艱難スルニ及ニテ遂ニ全然セシヨ」ヲ將軍ノ支
援ヲ以テ目的トスルニ至レリ蓋シ當時「ロマノフスキ」將
軍ハ妻ノ重患ニ際シ金錢上テ苦痛アリ一方會ノ維持

費ニモ欲乏ラ告グルニ至リ旁々以テ「スイロホヤールスキー」ノ
手ヨリ多額ノ補助ヲ受クルコトナリ統一會獨自ノ主義
主張ヲ抛擲スルノ已クナキニ至ルタルナリ

統一會ノ現狀

委員ハ「セーロロシ」新聞編輯所（横浜市山下町五七）ニ
於テ每週會合ス新聞ハ從前通り発行シツアルモセミヨ
トノ代表者カレニコ大佐^及「ヤビ」コフ將軍ノ檢閲注意
ヲ受ク又セミヨ一フ支援ノ宣傳ノ爲メ日本語新聞ヲ発
行シ西伯利亞ニ於ケルチエックスロヴアクノ暴虐非行ノ材
料ヲ蒐集シテハ之ヲ外國語ノ小冊子トシ刊行スルノ計劃モア
リセーロロシ一紙面ハ多ク歴史的材料及反過激派通信
ヲ以テ占メラレツアリ、新聞發行維持費ハ僅々一二ヶ月

ヲ余スニ過ギズ今ヤセミヨ一フ軍ノ「齊多」撤退ト關聯シ
統一委員會モ亦將ニ悲境ニ陥ラントシ彼等ノ面上秋心
色アリ目下委員會ハ頻リニ新政府樹立ニ府心シツアル
ガ如キモ斯ノ如キハ眞ニ謬見モ甚シキモノニシテ先ツ須ク
地方ノ秩序ト安寧ヲ恢復スルニ努ムベキニアラズヤ而シテ
ゴindaツチ派、ホルワツト派、セミヨ一フ派、ロマイフスキー派
錯綜論議シ各其ノ好ム所ニ從ツテ他ヲ賤ス此ノ間ニ乘
ジテ「ココーリニコフ」、「グーブリニ」、「ズロカーツ」等ニ、三商人ノ
飛躍スルアリ殊ニ「グーブリニ」如キハ購買組合ヲ背景ト
シテ大事業ヲ計劃シツアリ彼ノ購買組合トシテノ目
的ハ大商人及公共團員並ニ専門家ヲ結合シ將來ノ
極東商業界ニ雄飛スルアリトナスモ裏面ニ於テハ實ニ

政治的ニ社會政策ヲ實行セントスルニ在リ即チ組合
員トシテノ地方民ノ利益ヲ増進スルト共ニ地方政治的生
活ニ大影響ヲ及ボシ結局或ル主權ノ樹立ニ呼應セシメ
トスルニ在リ如斯ハ刻下統一會委員中ノ一部ニ流ル鬼
潮ナリトス蓋シ刻下ノ統一會ハ最モ危機ノ絶頂ニアリト
モ謂フベク其ノ狀支離滅裂ナリ

(以上)

機密
第2718號
12. 4. 23

管區署 第一課 五

外務省第一課

大正十二年四月二十一日

神奈川縣知事 安河内麻吉

内務大臣 水野錬太郎殿
外務大臣伯爵内田康哉殿
總監 兵庫縣知事殿

東京露西亞協會ニ関スル件
本月十九日元露國大使館内ニ於テ東京露
西亞協會臨時總會開催セラレタル趣ナ
ルが其状況左ノ如シ

本會ハ元大使館附「オレポフ」ヨ會長ト
シ館員及京決在留同國人ニテ廿三名
ノ會員ヲ有シタルモ會員中本邦退去
又ハ死亡等ニ依リ追次減少ヲ来シタル
ヲ以テ此等會員ノ異同並ニ一般會務
報告ノ為メ大使館員「アブリコ」司會
ノ下ニ本月十九日午後四時ヨリ大使館内
ニ會集ヲ招集シタル處横濱市ヨリハ
「シモナン」夫人及「セルゴブニコフ」夫人在京
者ハ「ラキミン」「ホムヤギン」「ルードル」
「アバ」
「リコズ」並ニ「オレポフ」等ニテ十三名出
席セリ而シテ會長ヨリ本會ノ概況ヲ

綴込名

述べ経費不足ニテ維持困難ナルヲ
以テ閉鎖スヘキヤ否ヤ又婦人職
業紹介部ヲ設置セント協議シタ
ルモ決定スルニ至ラズ近ク再會ヲ約
シテ散會シタル趣ナリ
右及申(通)報云也

機密
第2658號
12. 4. 23

外秘乙第一九〇號

管轄 第一課

大正十二年四月二十一日

警視總監ヨリ局長宛

露西亞人協會定期例會ノ件

移民課

在留露國人ノ組織ニ係ル露西亞人協會ノ定期例會ハ一昨十九日午後三時三十分ヨリ露國大使館内代理大使「アブリコソフ」方ニ於テ開催、出席者ハ「アブリコソフ」代理大使「ホチヤギン」少將、「ゾードロフ」海軍少將、「オシポフ」中佐、各夫妻、「ベール」書記官、「ランシン」グ通譯官、「セルギ」主教、「スモーション」技師、外數名ニシテ午後六時三十分散會セリ
追テ本會ハ在留露國人相互ノ利益ヲ増進シ親睦ヲ

圖ルノ目的ヲ以テ大正六年中組織セラレタルモノナルガ大正七年頃ニハ會員數約三百名ニ達シタルモ其後三會中ノ有力者相次イデ本邦ヲ去リ最近ニ在リテハ元露西亞國立銀行總裁「コンシン」死亡シ、在京日佛銀行關係者「ギンスブルグ」佛國ニ去リ目下會員僅カニ三十名ニ滿タズ然レモ其會員中ニハ會費ヲ納付セサルモノアリ、為ニ其維持極メテ困難ナル折柄在留露國人中ノ貧困者ニシテ全會ニ救助ヲ求ムルモノ尠カラズ依テ此際本會ヲ解散スベシトノ議出テタルモ前記出席者各自ニ於テ尚考慮シ置キ近ク臨時本會ヲ開催シテ解散ノ可否ヲ決定スルコトトナリ、前年度ノ會計報告アリテ後茶菓ヲ共ニシテ散會セリ

尚今田ノ例會ニ於テ現役員ノ改選ヲ行フ豫定ナリシモ
本會解散説出デタル為改選ヲ見合セタリト

(三)

REEL No. 1-0301

0042